

課程 全日制

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3	学年	1	科	全学科
使用教科書 副教材	My Way English Communication I（三省堂） データベース 3000 基本英単語・熟語 Workbook A・B（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版） Pre Listening Box（啓林館）								

1. 科目の目標と評価の観点

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを旨とする。		
評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む姿勢
	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	具体的な項目
定期考査	◎			年5回実施
学習状況の観察		○	◎	ペアワークやグループワークへの取り組み
提出物			◎	課題提出

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・課題は必ず提出すること。 ・成績不振者に対しては学期ごとに課題、追試、補習等を課す。
--

4. 年間学習計画

		学習の内容	考查範囲	予定 時数
一 学 期	4月	中学校既習事項の確認と復習（時制、疑問文、否定文など） Lesson 1 Proverbs Around the World 動詞の現在形・過去形・現在進行形/SVO (O=that 節)	中間左記範囲	30
	5月	Lesson 2 Iwago Mitsuaki — An Animal Photographer 助動詞/受け身/助動詞のついた受け身		
	6月	Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space 動名詞/to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法	期末左記範囲	
	7月	Lesson 4 Messengers from <i>Winnie the Pooh</i> 現在完了形/現在完了進行形/過去完了形		
二 学 期	8月	Lesson 5 Endangered Languages 関係代名詞（主格）/関係代名詞（目的格）/関係代名詞 what	中間左記範囲	45
	9月	It is ... to 不定詞		
	10月	Lesson 6 A Wheelchair Traveler 現在分詞の形容詞的用法/過去分詞の形容詞的用法/ 分詞構文/It is ... that ~	期末左記範囲	
	11月	Lesson 7 The Fugees 関係副詞 where/関係副詞 when/関係副詞 why/ 比較級・最上級		
三 学 期	12月	Pre Listening Box を週1回のペースで開始 Lesson 8 Avatar Robots 条件を表す if 節/仮定法過去/I wish ~/as if ~	期末左記範囲	30
	1月	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination SVO ₁ O ₂ (O ₂ =how to ~) /SVO+to 不定詞/ SVOC (C=動詞の原形) /SVOC (C=現在分詞)		
	2月	Lesson 10 SDGs — Sustainable Development Goals		
	3月			

合計 105時間

課程 全日制

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3	学年	2	科	全学科
使用教科書 副教材	Vivid English Communication II NEW EDITION（第一学習社） データベース 3000 基礎英単語・熟語 Workbook B・C（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版） Listening Box 1（啓林館）								

1. 科目の目標と評価の観点

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。			
評価の観点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えられている。日常会話を超えた内容の発信を目標とする。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。内容のある文章の理解を目指す。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
定期考査			◎		年5回実施
学習状況の観察	◎				ペアワークやグループワークへの取り組み
提出物				○	課題提出

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・課題は必ず提出すること ・成績不振者に対しては学期ごとに課題、追試、補習等を課す。

4. 年間学習計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	Lesson1 進行形・受け身/S+V+C(=現在分詞・過 去分詞)/seem to～	中間左記範囲	30
	5月	Listening Box Lesson2 Pictures, Time, Choosing Pictures It is...(for N) to~/S+V+it+C+to~/All you have to do is (to)～		
	6月	Listening Box Meeting the Host Family, Telephone, Meeting Friends It is+形容詞+that 節/		
二 学 期	7月	Lesson3 S+V+it+C+that 節/S+V+O+O(=名詞 節)	中間左記範囲	45
	8月	Listening Box Lesson4 Weather, News, Schedule 関係代名詞の制限用法/関係代名詞の 非制限用法/完了形/完了形 (受け身)		
	9月	Listening Box Map, Position, Shopping		
	10月	Lesson5 群動詞 (受け身) /進行形 (受け身) /		
	11月	Listening Box Restaurant, Announcement, Party		
三 学 期	12月	Lesson6 関係副詞の制限用法/関係副詞の非制 限用法	期末左記範囲	30
	1月	Listening Box Class Information, Graph, Interview		
	2月			

合計 105時間

課程 全日制

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学年	3	科	全学科
使用教科書 副教材	Vivid English Communication II NEW EDITION（第一学習社） DataBase3000 基本礎英単語・熟語 Workbook C（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版）								

1. 科目の目標と評価の観点

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で、適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。			
評価の観点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで自己を表現したり、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力しているか。	さまざまな話題やテーマについて、情報や考えなど、相手に伝えようとする内容を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができるか。	表現の基礎となる文法事項を理解し、さまざまな話題やテーマについて、英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを理解することができるか。	英語の学習を通して、言語や文化についての知識を身につけ、さまざまなテーマについての理解を深めることができるか。

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
定期考査		◎	◎	○	知識・読解・表現・リスニング等
授業態度	◎			○	ペアワークやグループワークへの参加状況や、教師の問いに対する応答
提出課題		◎	○		Data Base 3000 Workbook C・授業プリント・Learners'

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

① 課題は必ず提出すること
② 成績不振者に対しては、学期毎に課題、追試、補習等を課す。

4. 年間学習計画

		学習の内容		考査範囲	予定 時数
一 学 期	4月	Lesson 3	・折り紙の歴史と現在	中間左記範囲 期末左記範囲	20
	5月	Lesson 4	・形式主語 It is 形容詞 that節、 S+V+it+C+that節、S+V+O+O		
	6月		・数字にまつわる文化と伝統 ・関係代名詞の制限用法、非制限用法、完了形、受け身の完了形		
二 学 期	7月	Lesson 5	・カプセルによる最新医療	中間左記範囲 期末左記範囲	30
	8月	Lesson 6	・群動詞、進行形（受け身）、関係副詞の制限用法、非制限用法		
	9月		・国内外の環境保護		
	10月	Lesson 7	・副詞節、分詞構文（現在分詞）、助動詞+完了形		
	11月	Learners'	・ジョン万次郎の半生と英語 ・副詞節、分詞構文（過去分詞）、関係代名詞と前置詞 ・関係詞(II)、分詞(II)		
三 学 期	12月	Reading 8	・LRT と街づくり	学年末考査 左記範囲	20
	1月	Reading 9	・仮定法過去、S+V+O+C(=原形不定詞)、 S+V+O+C(=過去分詞)、同格の that		
		Learners'	・瀬谷ルミ子さんの取り組み ・have[get]+O+過去分詞、完了不定詞、仮定法過去完了、省略 ・仮定法(I)		

合計 70 時間

課程 全日制

教科	英語	科目	英語探究	単位数	2	学年	3	科	全学科
使用教科書 副教材		随時、独自教材を使用							

1. 科目の目標と評価の観点

目標	①英語によるup-to-dateな挨拶ができるようにする。 毎時、現代的な英語による挨拶を反復的に行うことで、同言語による挨拶の習得を目標とする。 ② 英語による挨拶から派生するsmall talkを対話者とできるようにする。 挨拶に関連して、自分に関する情報を、英語の短文を用いて相手に伝えられるようにする。 ③ALTとのactivitiesを通して、英語によるコミュニケーション能力を身に付けると同時に、日本とALTの母国間の文化差異の理解を深める。 各種activityを通して、自分が感じている事・考えている事を英語で発信できる能力を習得する。同時にそうしたactivityに参加する中で、自分とALTの間の物事の捉え方、問題の解決の方法の違い等、文化を根幹とする各種アプローチの差異を知る。 ④学習した表現等を用い、英語でのプレゼンテーションを行う。テーマの設定、情報の収集、情報の整理とまとめ、発表を通し、実践的で実用的なコミュニケーションスキルを磨く。			
	①英語による up-to-date な挨拶	②英語による small talk	③簡単なコミュニケーション能力の習得、及び文化差異の理解	④英語によるプレゼンテーション
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 英語できちんと挨拶の問い掛けができるか 一辺倒の受け答えにならず、場面に応じた受け答えができるか 発声に抑揚があり、挨拶の中に自分の感情を表現できているか 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶に続く会話の流れの中で「自分の事を相手に知ってもらおう」という意思があるか それまでの授業でのインプットを活かして、自分が相手に伝えたい事を、適切な英語を用いて表現する事ができるか 	<ul style="list-style-type: none"> 各種activityに対して積極的な取り組み姿勢を持っているか 自分の意見を発信しなければならないactivityでは、他者の真似ではなく、自分自身の意見を形成しようと努力する事ができるか ALTの発話内容を理解しようとする努力が感じられるか 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報をまとめ、観客に伝わるように英語で再構築することができるか（スクリプト） 整理された情報を視覚的にわかりやすくまとめることができるか（スライド） 十分な声量、流暢さ、文法的な正確さ、身振り、アイコンタクトでプレゼンテーションができるか（プレゼンテーション）

2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
定期考査	◎	◎	◎		Speaking に関する到達度はALT との面接で評価する。 それ以外の言語操作能力は筆記試験で評価する。
授業態度	◎	◎	◎	◎	ALT、JTE の英語を理解しようという積極性の有無、 また、自分の意見を英語で伝えようという前向きな取 組み姿勢の有無を重視する。

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

3. 学習にあたっての注意とアドバイス

① 英語による発信能力を高めよう、という基本姿勢を強く持つ事。
② 基本的に考査は授業時間を使って行う。教科担当者の指示をよく聞き、考査時に欠席しない事。

4. 年間学習計画

学期	月	学習の内容	考査範囲	予定時数
一 学 期	4月	(通年) ・英語を用いた挨拶表現 “What’s new?” “How’re you doing?” “How are you feeling?” 等の問い掛け表現、及び、 Fantastic/ Fine/ Pretty good/ Good /OK/ All right/ So-so/ Not so good 等の受 け答え表現の学習	4～7月の学習 内容を反映し たペーパーテ スト(筆記試験) +面接(1人約 10分程度)、プ レゼン	20
	5月	・自分に関する直近の出来 事を動詞の過去形を用いて 表現する学習		
	6月	・前回迄の学習内容のスパ イラル式review ・各種activityでのALT・ JTEの英語指示、発話を理解 するリスニング学習		
	7月			

二 学 期	8月		・「夏休みをどう過ごしたか」について与えられた定型文を用いた発表		
	9月		・ Thanksgiving day, Guy Fawkes Day等、日本にはない行事の起源・歴史、及び現在の慣行の様子に関する学習		
	10月		・ Halloween, Christmas等、日本で一般化した行事に関する、多種多様な視点からの本国との差異の学習		
	11月				
	12月		・ 「おすすめの国」についてのポスター制作とプレゼンテーション		
8~12月の学習内容を反映したペーパーテスト(筆記試験)+面接(1人約10分程度)、プレゼン	30				
三 学 期	1月		・ 「冬休みをどう過ごしたか」「新年の抱負」(与えられた定型文を用いた発表)		
			・ 「おすすめの漫画」についてのポスター制作とプレゼンテーション	面接、プレゼン	20

合計 70 時間